



令和2年(2020年)1月24日

**長野県の冬キャンプ市場を研究するプロジェクト「Nagano Fuyu Camp LABO.」を発足
「冬キャンプ需要調査2020」結果発表 冬キャンプの推計健在需要は58万人以上**

(一社)長野県観光機構は、長野県の観光団体有志とともに「Nagano Fuyu Camp LABO. (略称：NFC LABO. (エヌ・エフ・シー ラボ))」を発足いたしました。その背景、狙い、概要は以下の通りです。

【設立背景】

昨今のアウトドアブームによりキャンプ人口は増加し、市場が活気づいている。最近では、冬にもキャンプを楽しむ層も増えてきている。長野県はキャンプ場数が都道府県で2番目に多いキャンプ県である(出典：文部科学省「体育・スポーツ施設現況調査」)が、冬期にはクローズしているキャンプ場が多く、今後大きなチャンスロスを生む可能性がある。

また、暖冬雪不足の影響で集客に苦しむスキー場も多い中、雪に依存しない冬の新たな観光の魅力創出に取り組む必要がある。

【狙い】

- キャンプ場の冬期営業における課題を可視化し、その解決方法を見つけることで、冬期営業できるキャンプ場数を増やす。
- 冬キャンプの楽しさや安全に楽しむ方法を発信し、冬キャンパー人口を増やす。
- 冬キャンプといえば長野県というポジションを確立する。

【概要】

◆構成メンバー (※設立時点)

- (一社)長野県観光機構、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、(一社)信州千曲観光局
- (一社)信州しなの町観光協会、(一社)白馬村観光局、アルプスの里みなこい観光局
- (一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンター、阿智☆昼神観光局

◆活動内容

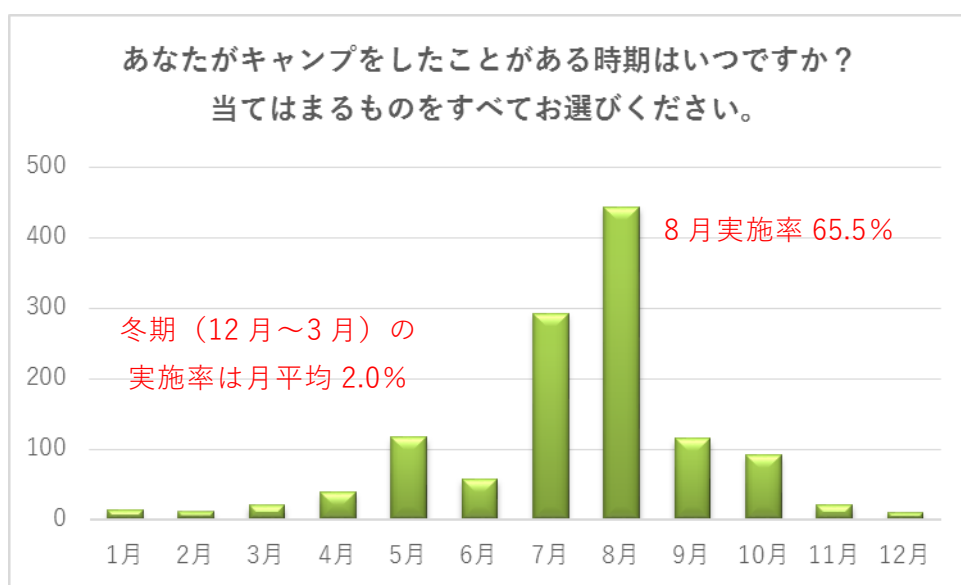
- ・調査分析 (冬キャンプ市場調査、県内キャンプ場営業実態調査など)
- ・フィールドワーク (冬キャンプの実践を通じた研究)
- ・有識者を迎えての課題解決法検討会
- ・広報 PR (長野県公式観光サイト「Go NAGANO」や SNS での発信、メディア連携など)

「冬キャンプ需要調査 2020」結果発表

【調査概要】 調査対象：年1回以上キャンプを行う15歳以上の方
調査手法：インターネット調査
調査時期：2020年1月15日～16日
有効回答：699サンプル

キャンプの人気シーズンは、断トツで夏（7～8月）。冬キャンプの実施率は6.4%

12月～3月のいずれかの月で
1回以上キャンプを実施した
ことがある人は6.4%。

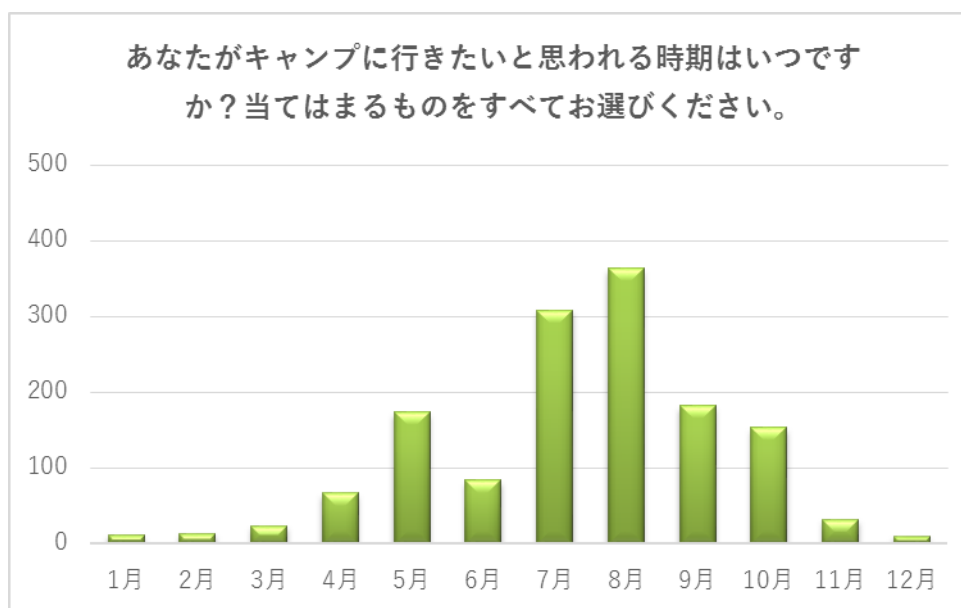


冬キャンプの実施意向率は6.9%。推計人数は586,500人。

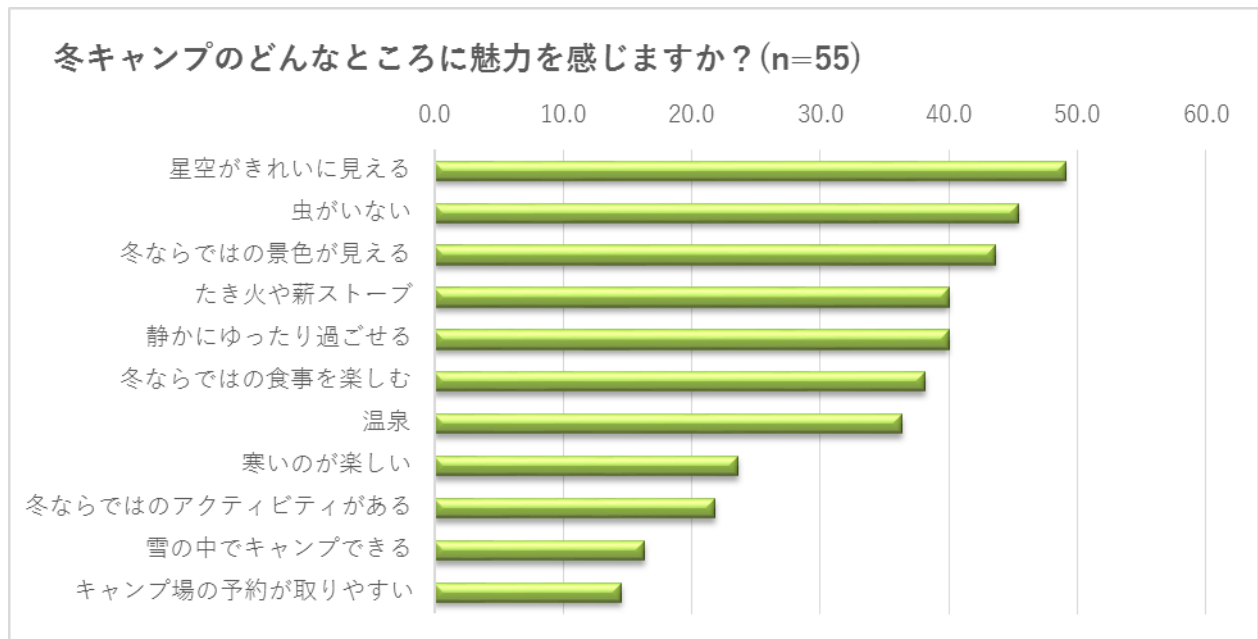
12月～3月のいずれかの月に
キャンプに行きたいと思う人
は6.9%。

キャンプ人口850万人(※)に
対し586,500人が意向層と
推計される。

※一般社団法人日本オートキャンプ協会
『オートキャンプ白書2019』より引用



冬キャンプの魅力ナンバーワンは「きれいな星空」



冬キャンプでこだわっているギアは、やはり「暖房」関係

1位	ストーブ	3人
2位	スマホ	2人
	ライター・火石	2人
	かいろ	2人
	ランタン	2人
	ブランケット	2人
	調理器具	2人

少数派ですが、「望遠鏡」や「釣り道具」、「映画」なんて回答もありました。

冬キャンプの人気料理ナンバーワンはキャンプの定番「肉料理」。 冬らしい「なべ」や「シチュー」も人気。

1位	肉料理	8人
2位	なべ	6人
3位	カレー	5人
	シチュー	5人
5位	ラーメン・うどん	2人

少数派意見としては「燻製」、「馬肉」、「すき焼き」などの回答がありました。

【本リリースに関するお問合せ先】

一般社団法人長野県観光機構 デジタルマーケティング担当

担当：佐藤 mail:k.sato@nagano-tabi.net mobile:080-5292-5708

坂口 mail:sakaguchi@nagano-tabi.net